

ボーイ隊 内賀嶋です。

1月21日にボーイ隊は救急プログラムを実施しました。

午前中は三角巾や包帯を使用した腕や鎖骨、指、脚の骨折や捻挫の処置方法について、止血について、傷病人の搬送法についてを練習しました。

午後からはモデル人形を使用して心臓マッサージやAEDの使い方を学び、最後には実際に傷病人が発生した想定で、どれだけ班で臨機応変に対応できるかを一日の総まとめとして実施しました。

はじめは、行動がゆっくりであったり、無駄な動作があったりでしたがやっていくうちに、少しずつ考えながら対応できるようになっていました。

ボーイスカウトの活動は野外です。特にボーイ隊は山でのキャンプ等怪我をしやすい場面もあるため、安全管理を行うだけでなく、万が一、傷病人が発生してしまったための、救急隊につなぐまでに自分たちができることの引き出しを多くもって置くことが必要です。

また、活動中だけでなく、日々の生活でもそのような場面に遭遇したときに勇気を出して助けるためには知識や技能の備え、気持ちの備えが大切です。

今回の隊集で、スカウトはただターゲットバッジを取るためだけでなくそのような「そなえよつねに」を理解して、取り組んでもらえたらと思いました。